

地域で考えよう 農地の将来像

地域計画

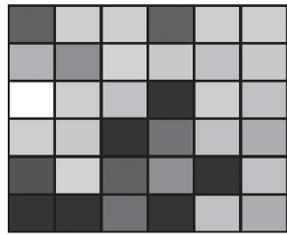
地域農業の将来を描いた従来の「人・農地プラン」が法律に基づく取り組みとなり、「地域計画」となりました。これにより、10年後に誰が農地を担うかを1筆ごとに決めていくことが求められます。離農などが進む中、これからの農業を地域で話し合い、維持・発展させていくための計画です。

1 地域計画とは

地域での話し合いにより、地域の農業の在り方や将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を市内全域で定めます。

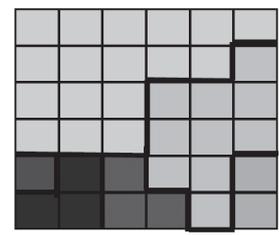
また、10年後の目指すべき農地利用の姿として「目標地図」を作成し、1筆ごとの利用を「見える化」していきます。

現況地図



現在の耕作者や離農予定者などの農地を地図で把握

目標地図



担い手への集約化など、10年後に目指すべき農地利用の姿を表示

2 地域計画はなぜ必要なの？

市の農業経営体数は、平成22年からの10年で約30パーセント（約760経営体）減少しました。

このままの減少が続くと、高齢化や人口減少が加速する中、農業者の減少とともに耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなりま

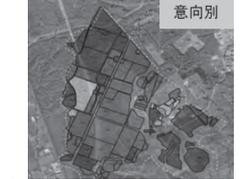
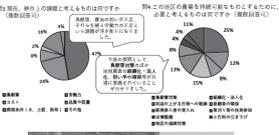
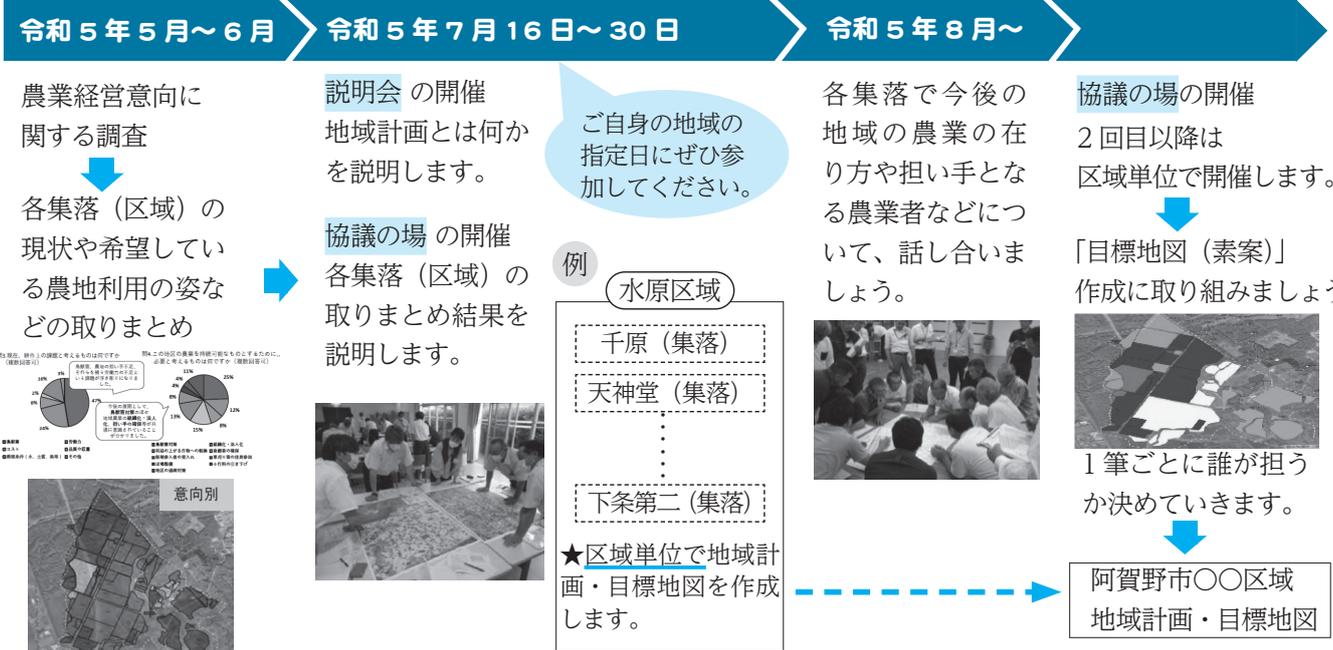


3 私たちは何を？

まずは、誰がどのよう

にして地域農業を担っていくか、地域で話し合いを重ね、地域の農地利用の姿について「目標地図」を取りまとめ、その実現に向けて取り組んでいくことが重要となります。

4 今後、どのように進むの？



取りまとめ結果のイメージ